

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨） ※ご意見・ご質問シートについては概ね原文	意見・質問への区としての回答
1	本会 (R4. 5. 31)	東野 委員	保育所の各種データについて 直近の区内保育所一斉入所申込み時における、第一希望の保育所・申込人数・定員及び、各区別の待機児童数（年齢別）を記載した資料を、次回のこども・教育部会でご提供いただきたい。 （2016～2018年度に提供いただいた資料は確認済み）	【保健福祉課（子育て教育）】 ・第一希望の保育所・申込人数・定員 城東区ホームページに掲載しています。 https://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000547248.html ・各区別の待機児童数（年齢別） 大阪市ホームページに掲載しています。 https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000566847.html
2	本会 (R4. 5. 31)	東野 委員	保育所の質について 東京都足立区のある保育所で、保育士24人中23人が退職し、休園に追い込まれる旨の新聞記事を見た。 城東区において待機児童数が大きく減少したことは良いことだと思うが、これからは量から質が問われる時代となっていると考えている。 以上について見解を伺いたい。	【大東区長】 卑近な例として考えたことはないですが、まずはしっかりとした量を確保し、そのうえで量が質に転化していくという考え方のもとで運営してきたところであり、今後につきましてもしっかりと取り組んでいきたいと考えております。
3	本会 (R4. 5. 31)	内山 委員	生活保護受給世帯等に対する支援について 大阪市における、生活保護受給世帯が非常に多く、国民健康保険料の未払いも多い。 支援する側の民生委員もなかなか手数が少なくなっており、運営方針で民生委員への支援についても考えていただきたい。	【大東区長】 大阪市の生活保護世帯数は全国でも非常に多く、西成区に集中している状況であります。城東区は人口割合で換算すると少ない方ではありますが、引き続き支援を続けてまいります。 【奥堀保険年金担当課長】 生活保護に至らない、ぎりぎりのところで生活をされている方も相談に来られます。国民健康保険料の未納相談だけではなく、生活支援・自立支援の場に繋いでいく取組みも行っております。 【椿谷保健福祉課長】 民生委員の皆様は地域福祉の中心として重要な役割を担っていただいていると認識しています。運営方針においても「地域福祉の担い手の育成支援」をあげており、民生委員の皆様には、何かあれば、区役所や地域包括支援センターなどにつないでいただくようお願いしており、引き続き、十分連携して、適切な支援を行ってまいります。
4	本会 (R4. 5. 31)	内山 委員	地域での担い手不足について 以前より城東区には商店街や地場産業がたくさんあり、そこに勤めている方が地域を支えてきた経緯がありますが、現在はほとんどの区民が区外に勤めており、「住む」まちになっている。 「住んでいる」区民がだけでなく、地域の担い手確保のためにも「勤めている」方の支援も運営方針を策定していくうえで考えていただきたい。	【大東区長】 都市化も過疎も進んでおり、都市部に人口が流入するという現象が起きている状況でございます。 このような状況下で新たな手法を用いながら、手分けをして支えていくなど、支え合いの仕方を変えていくことで対応していくように考えております。
5	本会 (R4. 5. 31)	河原 委員	運営方針の目標設定について 様々な指標があるが、 ・健康診断や予防接種などの実施率を何％以上にする ・地域サポーターの人数を何人以上にする ・ハザードマップによる危機意識を認識している地域住民が何％以上 など、より具体的な指標を運営方針に盛り込むことができればいいのかなと思う。	【大東区長】 現在の目標設定は、運営方針記載のとおり、区民アンケートなどで肯定的な回答がどのくらいあるのかというアウトカムの設定が主となっております。 それぞれの指標について、何件以上・何人以上などアウトプットの目標設定とすることは比較的容易ですが、その数字だけを達成すればいいのかという問題もありますので、その質も加味しながら目標設定を考えてまいります。
6	本会 (R4. 5. 31)	松井 委員	城東区の人口密度が高いことについて 以前より城東区の人口密度は非常に高く、感染症対策が難しいという話をしている保健師の姿をテレビで見た。 森之宮地域で大学キャンパスが設立されるので、より人口密度が高くなっていくことが予想される。 以前の運営方針では、人口密度が高いことの記載があったが、現在はないのはなぜか。	【大東区長】 以前は、大阪市内で城東区の人口密度が一番高い状況でしたが、現在は西区が一番高いことから、特段の強調はしておりません。
7	本会 (R4. 5. 31)	東野 委員	城東区の緑被率について 大阪市は緑被率が低いが、城東区は特に緑被率が低い。 道路交通を円滑にするために、木々伐採が進んでおり、低木化も進んでいる。 見解をお聞きたい。	【大東区長】 新たに木々等を植えるにも住居建設が進んでいる状況であり、緑被率を維持していくことが現実的であると考えております。
8	本会 (R4. 5. 31)	東野 委員	大阪公立大学の森之宮キャンパス設立における地域住民説明会について 第二回目の地域住民説明会について、まだ開催されていない。 第一回目では、森之宮・中浜・鳴野の地域での住民説明会があったが、城東地域でも、学生向けのマンションが建設中であり、決して関係ない訳ではなく、説明会を行ってほしい。	【大東区長】 どの地域で住民説明会を行うかについては、大阪公立大学が適切に判断していくものと考えております。
9	本会 (R4. 5. 31)	東野 委員	空き家の売却による譲渡所得の特別控除について 空き家を売却した際に、譲渡所得の特別控除があることを知らなかった。 現在も継続している制度であり、区役所の区民情報コーナーで配架し周知していただきたい。	【市民協働課（防災・防犯）】 「被相続人居住用家屋等確認書」（空家を相続・譲渡した場合、3千万円の税控除等）にかかるチラシを6月2日に、1階区民情報コーナーへ配架をさせていただきます。

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨） ※ご意見・ご質問シートについては概ね原文	意見・質問への区としての回答
10	本会 (R4.5.31)	森 委員	将来ビジョンについて 将来ビジョンについては、区長が変わっても引き継ぐことになるのか。	【大東区長】 将来ビジョンについては、従前の考え方に沿って、補足しながら策定していくものと考えております。
11	本会 (R4.5.31)	森 委員	城東区内の横断歩道の白線について 成育小学校・蒲生中学校・城東区役所にある横断歩道の白線をきちんと整備していただきたい。	【大東区長】 対応できる範囲で関係各所と調整していきたいと考えております。 【市民協働課（防災・防犯担当）】 頂いた情報については、城東警察署交通課へ伝達を行いました。今後も関係各所と連携して把握・整備に努めてまいります。
12	本会 (R4.5.31)	藤澤 委員	防災に関する食料の備蓄について 区広報誌でフードドライブの取組みを見た。 備蓄食料については、小学校の授業でも題材としており、アルファ化米など賞味期限が近づいているものについてはどのようにしているのか。	【綿世防災・防犯担当課長】 賞味期限が迫ってる備蓄物資の活用は、各地域活動協議会へご案内のう え、活用いただいております。 また、福祉施設や子供食堂の方にも一部提供をしています。
13	本会 (R4.5.31)	森 委員	案内封筒について 区政会議の開催案内の封筒の裏面が葬儀業者の広告になっている。 あまり気分の良いものではなく、改善できないか。	【大東区長】 大阪市全体で作成している封筒でありますので、ご意見いただきました ことをお伝えさせていただきます。 【総務課（総合企画）】 ９月の区政会議開催案内文送付の際、裏面が空白の封筒を使用しまし た。
14	本会 (R4.5.31)	戸根 委員	地域福祉事業の事業計画について 地域サポーター、また推進コーディネーターの配置に関する事業展開について、城東区役所の随意契約の結果、すべて城東区社会福祉協議会が受託しているが、年度毎に事業計画立てていると思うので教えてほしい。	【椿谷保健福祉課長】 地域サポーターには、地域の見守りや災害時における支援のための情報を収集していただいております。 推進コーディネーターにつきましては、各地域でアクションプランを立てていただいております、それぞれご自分の地域での課題・対応策としても検討いただいております。
15	本会 (R4.5.31)	戸根 委員	地域福祉事業の目標設定について 地域サポーター・推進コーディネーターの業績目標が令和３・４年度ともに、基本的に同じことが書かれていて、目標件数は3,000件となっている。 令和３年度は3,820人を達成していたうえで、令和４年度の目標設定であるが、実際には何件までが目標なのか教えていただきたい。	【大東区長】 昨年度の実績に対して、業績目標が少ないのではないかとのことですが、令和３年度の急激な増加した実績を加味したうえで、目標を設定しております。
16	本会 (R4.5.31)	塩崎 委員	開催資料の配布について 開催資料がメールで届いたが、後日、印刷した資料の送付もあった。 ペーパーレスとして改善余地があるのではないか。	【大東区長】 ペーパーレスのご希望をそれぞれ委員の皆様にお聞きしながら、今後の運営をすすめていきたいと考えております。 【総務課（総合企画）】 令和３年12月に開催した区政会議委員説明会の際に、各委員の皆様あてに送付する開催案内文及び会議資料の送付について、 ・メール送付のみ希望 ・開催案内文のみメール送付希望であり、会議資料は印刷物での送付を希望 ・開催案内文及び会議資料の両方を印刷物での送付を希望 以上の旨ご確認のうえ対応しております。 ９月の区政会議開催案内文にて、改めまして、会議資料をメール送付のみご希望であるかどうかお尋ねしております。
17	本会 (R4.5.31)	東野 委員	資料について 両面印刷が見やすいようにホッチキスの留め方を工夫してほしい。 文字を大きく、できれば16ポイント以上で記載していただきたい。 ペーパーでの資料をいただきたい。	【総務課（総合企画）】 見やすい資料づくりに努めてまいります。
18	本会 (R4.5.31)	東野 委員	令和３年度運営方針自己評価に２－１－１の取組み実績について 防災力の向上についての取組み実績に、「自然災害伝承碑登録（聖賢小・今福小・栄照寺の石碑）」を挙げており、とても良いことだと思う。	—

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨） ※ご意見・ご質問シートについては概ね原文	意見・質問への区としての回答
19	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	池田委員	オンラインによる区政会議参加について 今回もオンラインでの参加で、機器の設置手配をありがとうございました。 皆さまが少し早くで話されていた事、またマイクを拾う音が少し膨張(?) していて、全体的に聞き取ることが難しかったです。 しかしマイクなしではより聞こえづらいことになると思いますので、これ以上工夫していただくことは難しいとは思いますが・・・。	【総務課（総合企画）】 今後もオンライン参加の方に対して、可能な限り聞き取りやすく、発言しやすい環境づくりに努めてまいります。
20	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	池田委員	保育士について 城東区は保育園が多くあり、またつどの広場も充実していて、子育てするには良い地域であると思います。 しかし、待機児童はゼロとありますが、保育園が増えて保育士不足は問題になっていないのでしょうか。 もし保育士不足であれば、城東区における対策や取組みはあるのでしょうか。	【保健福祉課（子育て教育）】 ・大阪市内で保育士として働く方を支援します 大阪市ホームページ https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000382557.html
21	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	池田委員	こどもの重大虐待事案について 城東区におけるこどもの重大虐待事案はゼロとありますが、重大でないほどの虐待案件というのは数値として公開されているのでしょうか。 また、こどもの虐待案件がない＝安心ではなく、相談の声が挙がっていないだけということも考えられます。 相談窓口の広報をもう少し広げる、電話相談窓口設置だけでなくセミナーや講演などもっと開催されればよいのではないかと思います。 そのようなセミナー・講演会に対する積極的な体制があれば教えていただきたいと思っています。	【保健福祉課（子育て教育）】 子育て支援室相談件数（虐待相談）については、「城東区運営方針 経営課題3 現状・データ」に掲載しております。 ・虐待相談件数 平成30年度71件 平成31年度54件 令和2年度83件 虐待相談 中央こどもセンター 児童虐待ホットライン（年中無休 24時間対応） 城東区役所保健福祉センター子育て支援室 相談窓口及び制度や手続きに関する広報については次のとおりです。 ・大阪市の取組み 「子育ていろいろ便利帳」作成 ・城東区の取組み アプリの導入「子育て応援ナビわくわく」 情報誌「わくわく城東」を毎月発行 「子育て応援マップ」作成
22	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	石井委員	地域活動協議会との意見交換や、支援内容について 資料2の基本理念は良い内容と考える。しかし、副区長説明はペーパーを読み上げるだけで内容が伝わらなかった。 例として、地域活動協議会との意見交換や、支援内容について報告・補足説明を求めたい。 地域が抱えている問題点について区がどう対応しようとしてきたのか、しようとしているのが知れたかった。	【市民協働課】 地域との意見交換会に関しましては、区長と16各地域活動協議会との意見交換会を年度中2回を基本に実施することにより、防災防犯、道路環境美化など地域課題を吸い上げ、本市各担当部署等関係機関と連携しながら課題解決に取り組んでいます。 地域活動協議会の支援といたしましては、地域が実施する防災・防犯、子ども・青少年健全育成、地域福祉増進事業など補助対象事業に対し地域活動協議会補助金を交付するとともに、城東区まちづくりセンターを設置し、各地域活動協議会の状況に応じて、人材育成、自主財源の確保、情報発信、他の地域活動主体との連携・協働の橋渡しなど、自律的な地域運営に向けた支援を行っています。
23	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	上床委員	区政会議の運営について 委員の意見や質問に対して、区長や区役所の職員の方よりご回答がありますが、さらに、回答に対して、委員より補足質問・追加質問などさせていただくと、より建設的な議論になると思うのですが、いかがでしょうか。	【総務課（総合企画）】 区政会議では、限られた時間のなかで、議題についてのご意見を委員の皆様からいただいております。 議題に沿ったご意見・ご質問につきましては、委員の皆様より積極的にご発言いただけるよう運営に努めてまいります。
24	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	上床委員	今回の資料やその他区政全般について 区民アンケートで達成状況を評価するように目標が設定されていますが、アンケートの回答者の属性（性別、年齢、世帯人数、年収、など）に偏りが生じないように取り組まれていることはありますか。	【総務課（総合企画）】 区民アンケートにつきましては、住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の城東区民を対象に実施しております。
25	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	上床委員	今回の資料やその他区政全般について 区民アンケートで達成状況を評価するように目標が設定されていますが、アンケートの回答項目において、ポジティブ回答（例：そう思う等）とネガティブ回答（例：思わない等）があるかと思いますが、ポジティブ・ネガティブのどちらでもない（例：どちらでもない）の回答項目はありますか。 また、無回答も分母に入れて計算されているのでしょうか。	【総務課（総合企画）】 令和3年度は、区民アンケートを3回実施しましたが、肯定的・否定的どちらにも属さない回答項目は設定されておりません。 また、回答数を分母として計算しております。
26	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	上床委員	保育所の数について 今回の本会の中での大東辰起区長の回答について、『まずは保育所の数を増やして、数を増やしたのちに質に転化していく』という方針があると回答されていました。 その後、いろいろと調べてみたのですが、＜保育所の数が増えると質に転化する＞という事例が見つかりません。 保育所の数が増えると質が向上していく、という、実践例や研究例があれば教えていただきたいです。	【保健福祉課（子育て教育）】 まずは待機児童の減少をめざして「しっかりとした量を確保」することが重要です。 量に関係なく、質の向上は求めています、十分な量が確保できるだけの数が増えることにより、多様性への対応が可能となるなど相乗効果も期待できると考えます。

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨） ※ご意見・ご質問シートについては概ね原文	意見・質問への区としての回答
27	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	竹内委員	ギャラリーの展示について 区役所に伺った時には、いつもほっこりさせていただいています。内容もいろいろあり楽しんでいます。 親子で区役所に来られた時に、こどもたちも楽しめるコーナーが自然な形であると、待ち時間が過ごしやすいと思います。 また、春よりトイレにアルコール消毒の設置があり、個人的に安心しました。	—
28	ご意見・ご質問シート (R4.5.31)	宮村委員	カラスによる被害について 鯉江地区の往来をしていて、一番気になることはカラスの多さです。 先日一羽が電線で感電死しました。その時、百羽ほどのカラスが集まりました。 その異様な光景は地域の住民皆が驚きました。停電も一部地域で数分ありました。 地域の鯉江グラウンドではほとんどの木の枝が伐採され、カラスの住処が奪われているのを感じます。 普通ゴミの日にはゴミを食い荒らす光景を目にします。 どんな対策を考えておられるのか、お尋ねしたいと思います。 （6月1日に、城北環境事業センターからカラス被害に関するプリントが届いていました）	【保健福祉課（生活環境）】 春から夏にかけての時期はカラスの子育てシーズンであるため、都市部であっても高い木々等がある公園等の場合は、カラスが多くみられることがあります。また、そのような時期であることに加えて、都心部ではエサとなる生ゴミが多いこともカラスが集まる主な要因となっており、ごみを適正に管理することが重要と考えています。 城東区役所では、市民からの相談があった際には、鯉江公園（城東区今福西6-5）付近の周辺調査を必要に応じて実施しており、カラスの巣の駆除等については、鯉江公園を管理している鶴見緑地公園事務所に、不適切なゴミ出しについては、城東区を管轄する城北環境事業センターに適時情報提供しています。併せて、広報車によるカラスに関する注意喚起を行っています。 今回、多数のカラスに関する相談が寄せられたことから、鷹の声を流すなどの車両を用いたカラス除け対策の実証実験を進めているところです。